

Mランドニュース Vol.132

丹波ささ山校 平成30年3月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

今月の言葉

「掃除をすると、小さいいろいろなことに気付く力が鍛えられ、学ぶことがたくさんあります」
ケーキハウス ツマガリ
津曲 孝社長のことば
タニサケ会長 松岡 浩著「満堂に春を生ず」より

二月のMランド

葵チーム 前川 昂希

大学や専門学校が春休みの中、学校の卒業を控えた多くの学生さん達でMランドはにぎやかな毎日を送っています。

お越しになったら是非参加していただきたいのが、「朝のボランティア活動」です。「何か面白そう」と参加される方。「友達に誘われて」と参加される方。理由はさまざまですが、思いもよらない気付きがたくさんあります。

そして、「時を守る」ことの大切さも身に付けていただきたく、集合時間を厳守とし、連日午前七時前には、三つのホームからゲストが小走りですぐと集まってこられます。



「さあ、今日もやるぞー！」

まず、どのボランティアも知らないゲスト同士、自己紹介と五十分間の掃除内容や道具の使い方、注意事項の説明から始めます。



道具の使い方は丁寧に

「トイレ掃除に学ぶ会」は特に人気のあるボランティアで、便器や床を素手で磨くことはもちろん、タオルで拭きあげることにも皆さん驚かれています。それがただ学ぶことも多く、印象に残っているようです。



気持ちがどんどん入ります

中でも、これまで何気なく使っていた水の大切さを、掃除を通して気付かれる方

が多く、以後の生活で水の使い方が変わるといことは、周りの人々にも良い影響をもたらすことでしょう。

「校内掃除に学ぶ会」は、主に自分たちが利用するロビーや教室の掃除です。

一見、きれいに見えても塵や埃は出てきますので、毎日の掃除は欠かせません。



誰もいない静かなロビーで

また、自分の努力の成果がよくわかる、タイル磨きにもチャレンジされています。



無心とは、まさにこのこと

自ら掃除すると気持ちの整理もできるのでしようか、勉強に対する集中力も自然と伴うようになります。

「近隣掃除に学ぶ会」は、Mランド周辺の道路や、市内の道路まで自動車で移動してごみ拾いをしています。

特に二月前半は冷え込みが続き、タバコの吸い殻などが道路に凍り付き、剥がしきれないものもあり、ひと際苦労されていました。



「ドライバーの皆さん、ポイ捨てしないで」

持ち帰ったごみは皆さんで分別し、道具を洗って終了。



使えるごみはリサイクル

「ごみを拾う」だけですが、感想発表でいろんな気付きを述べられます。意外にたくさんあった。ごみを拾うまで、ごみが落ち

ちていることさえ気にしていなかった。

道で出会った人に「ありがとうね」と声をかけてもらって、とても嬉しかった。

捨てる人にはなりたくない。気持ち良かった。

など、ゲストの皆さんは「ごみ拾い」から、多くを学ばれた一か月でした。



皆さんで気付きを共有

明日卒業されるようなゲストと、昨日入所されてきたようなゲストが、共に掃除される光景が二月も続きました。

運転免許を取得するためにお越しいただいています。朝のボランティア活動を通してドライバーとして必要な「目配り」、「思いやり」の気持ち、「掃除」から身に付けておられ、私達もゲストと共に成長したいと願っています。

笑顔が好きです

営業チーム 中野 聡

二月十四日は、女性から男性へチョコレートを贈るバレンタインデーですが、さき山校では毎年男女関係なく、チョコレートをお渡ししています。

二月に入るとインストラクターは、それぞれゲストに「元氣」を届けるメッセージを書き始め、サービスチームが袋詰めなど、毎日少しずつ準備しました。



思いを込めて準備しました

当日、「私達インストラクターからです」とお渡しすると、キョトンとした表情の皆さん。

街のスーパーなどではバレンタイン一色といったところでしようが、ここは教習所。

ゲストの皆さんは朝から夜まで勉強に追われ、今日

が何の日かさえお忘れの方ばかりでした。



思いもよらないおくりものに

決して高価なものではありませんが、手にされた皆さんの笑顔がとても印象的でした。

お気に入りのインストラクターのメッセージでしょうか、しばしゲストの歓声がロビーから聞こえていました。

切磋琢磨

そうじのカニ班 構井 謙二

早朝よりゲストをお迎えるため、職員は各チームの持ち場の掃除に励んでいます。

それが終われば毎朝七時五十分から十分間は「そうじのカプロジェクト」です。

私たち二班は学科教室をそうじ場所として、職員で相談しながら取り組んでいます。

一日を通して多くのゲストにご利用していただきますので、表面上の掃除はもちろんです、中には少しづつ汚れていくものもあり、ややもすると異変に気付かないものです。

「そうじのカプロジェクト」の目的は、気付きの感度を上げ、仲間で知恵を出し合い、問題解決していくことにあります。

最高の教室を目指し、現在取り組んでいる一つは、滑り止めの凹凸のタイル磨き。過去にも磨かれていた

ですが、利用頻度もあり半年もすれば黒ずんできます。

掃除道具はタワシや歯ブラシをメインに使用し、汚れのひどいものは高温スチームなども使います。



少しづつ丁寧に

もう一つは、普段忘れがちな天井の空調です。

誰もみなく、これまで気にして見ていなかった場所へ

行き、問題意識を持って見ることができま



空調のフィルターの掃除です

また、火曜日のミーティングでは、職員間の進捗状況と一週間の予定を共有しています。

毎日十分間の取り組みですが、二班五人で続けていると、場所が美しくなるだけでなく、流れる空気も違ってくることを実感します。

二月の「三宝庵」

サービスチーム 森田 理沙

暦の上では「春」ですが、春の訪れと言うには程遠い二月上旬でした。

そんな中、ここ「三宝庵」には、多くのゲストがお茶席にお越しになりました。

元氣いっぱい皆さんの、お茶席となると幾分神妙な

面持ちになられますが、四季折々のお茶菓子をお出しすると表情もやわらぎ、いつもの年相応の顔になられます。



皆さんの笑顔で「春」のよう

皆さまにお伝えしたい「一期一会」の心。

毎週水曜日午前十時から午後三時まで、「三宝庵」にて、皆さまのお越しをお待ちしております。

目指せ！「満点」

共習チーム 谷口 健

連日ロビーでは、多くのゲストが学科テスト「満点」を目指して、朝から夜の閉館まで勉強に勤しんでおられます。

各段階の学科教習が終了すると、「効果測定」といわれる、五十問の学科テストを受けていただきます。

頑張り甲斐あって満点合格する人、問題を深読みして間違ったり言葉の取り違えなどで満点を逃す人も居ます。

しかし、それが教訓となり、本番では多くの方が満点を取られます。合格だけなら九十点でも良いですが、一〇〇点とは大違い。

ロビーでは、今日も満点目指して黙々と頑張っておられます。



ロビーには静かな音楽だけ

編集後記

井本 徹

同じことの繰り返しは「維持」ではなく「衰退」。

「ことをするとき、起こすとき、愛の心で考えなさい」と言われた小河二郎会長のことを思い出します。

「自分の都合でなく人のために」